

活 力 あ ふ れ 感 性 息 づ く 芸 術 文 化 の ま ち 尾 道

こ う ほ う
おのみち

No.980
5月号

Onomichi City 平成25年(2013)



特集 | 交通安全 「おのみちしぐさ」 ~自転車マナー編

もくじ

3 特集「おのみちぐさ」 ～自転車マナー編

6 バス優待乗車証等の交付

8 暮らしの窓

災害時要援護者避難支援制度／地域集会施設リフォーム事業補助金／おのみち「農」の担い手総合支援事業／清掃 ほか

10 健康・福祉

健康相談／歯の衛生週間 歯っぴーフェスティバル／まめまめ通信／子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン予防接種委託医療機関 ほか

14 子育て

乳幼児健診・相談・講習会 ほか

16 スポーツ

17 芸術・文化

図書館の催し／2013せとだパリ祭～シャンソンの祭典～／文化財 ほか

19 情報アラカルト

ふるさと納税推進事業参加事業者募集／鳥獣防護さく等設置事業／市有地の売却／まちづくり活動発表会／勤労青少年ホームの教室／「しまなみサイクルオアシス」募集／因島水軍まつり出場者募集～小早レース～ ほか

26 相談

28 「おのみち散歩散走マップ」作成／ 「凧スピード」貸出中

釜山広域市中区との友好交流



4月11日、12日、釜山広域市中区の区長をはじめ区職員、民間団体代表や保育施設長24人が本市を訪問、市内認定こども園等を視察し、交流を深めました。

5月24日には、市と釜山広域市中区で、友好交流を明確にする「友好交流意向書」を締結します。

トピックス—Topics—

栗原少年消防クラブ全国表彰受賞



栗原少年消防クラブが、全国少年消防クラブ運営協議会より、「特に優良な少年消防クラブ」として表彰され、4月8日、市長表敬訪問を行いました。

栗原少年消防クラブは、昭和57年7月に結成以来、30年間にわたり、栗原小学校区内における防火思想の普及啓発に努めており、常に地域防災のリーダー的存在として貢献しています。

最近では、消火訓練、避難訓練などの実践的な活動と、救命講習の受講など身近な防災の視点を取り入れた活動も多く行っています。

ハローキティ地域案内型絵本の寄贈



4月8日、尾道ケーブルテレビ株式会社より、ハローキティ地域案内型絵本が市内の公立／私立保育所(園)・幼稚園や図書館に70冊寄贈されました。

この絵本は、尾道の代表的な観光名所「千光寺、瀬戸内しまなみ海道、因島、生口島」などをハローキティたちと巡る観光旅行の物語です。

ハローキティたちが、観光名所案内のほか、尾道の特産品や伝統的な祭など、四季折々の魅力や歴史・文化を紹介しています。

今月の表紙



「第19回ジャパンカップビーチボール選手権大会」が、一宮市にて3月30日・31日に行われ、尾道のチーム「ZIPANG」が18

歳以上の部で初優勝しました。

選手の皆さんは、「チームワークを大事にしています。これからもビーチボールを楽しんで続けていきたい」と話していました。

5月は自転車マナーアップ強化月間です

市は、人と環境に優しいまち「おのみち」を実現するため、市民憲章にある「互いにゆずりあい きまりを守る 平和なまちにしよう」の精神を“尾道”風のイラストや方言を用いて表現した「おのみちしぐさ」を創作し、マナー・エチケットの向上に取り組んでおり、このたび、自転車マナー編を創作しました。

自転車も自動車も同じ車両、お互いに思いやりを持って安全に通行しようという想いを込めています。

今回は、この「おのみちしぐさ」～自転車マナー編を基に、交通マナーを紹介します。



今回の「おのみちしぐさ」～自転車マナー編では、ジャン・クレーン博士が尾道の方言で自転車マナーを解説。

ジャン・クレーン博士

おのみちしぐさに登場するマスコットキャラクター。「尾道の方言に詳しく、島から北前船で出勤。」



市内の4高校(尾道東・尾道北・尾道商業・尾道)では、警察と連携して学校ぐるみで、自転車マナー向上に取り組んでいます。

(写真は通学時の自転車マナー指導の様子)

尾道市民憲章

(昭和53年4月18日制定)

わたくしたちは、自然の景観に恵まれ、古い歴史をもつ尾道をこよなく愛し、誇りとします。

わたくしたちは、先人の偉業をしのびつつ、郷土の発展と健康で明るく住みよいまちづくりのために、この市民憲章を定めます。

- 1 伝統を生かし 文化遺産をうけつぎ 風格のあるまちにしよう
- 1 きれいな海 緑と太陽の輝く 清潔なまちにしよう
- 1 人を尊び人を愛し 健康で ころろ豊かなまちにしよう
- 1 互いにゆずりあい きまりを守る 平和なまちにしよう
- 1 生きて働らくことに喜びをもち 希望にみちたまちにしよう

おのみちしぐさ～自転車マナー編



📍 ケータイ運転は禁止。
電話が中心の際は自転車を
おろしましょう。



【のみのみ】

「飲みながら」を「飲み飲み」と繰り返して言うのも方言ですね。

でも、ケータイで「しゃべりしゃべり」自転車にのるのはいけませんね。

いくら大事な電話がかかっても、気になるメッセージが入っても、「ながら」で運転するのはいけません。ちゃんと周りを見て、歩行者にも自動車にも気を付けましょう。

ヘッドホンで音楽を「聴き聴き」なんてもってのほか。近づいてくる車の音が聞こえませんよ。



📍 無灯火

【ここにおるよ】

暗い夜道で音もなくふっと無灯火の自転車があらわれる。車もびっくり、人もびっくり。ぶつかったら大変です。ライトをつけるのは明るく道をたやすためではなくて自分のことを気づいてもらうため。

車にも人にも「ここにおるよ」としっかりわかるように。

自転車安全利用五則

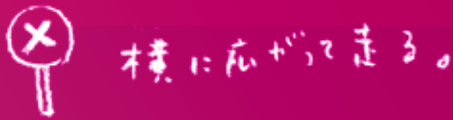
1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
夜間はライトを点灯
交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用
夜間・早朝など、暗い時は必ずライトを点灯して、反射器材も付ける。
自転車は、道路交通法上「軽車両」。
加害者・被害者とならないよう、安全運転を心がけよう！



📍 傘さし運転

皆さんの
自転車マナーは
大丈夫？

尾道の方言で解説！



【～あげる】

「ひろげあげる」「ちらかしあげる」のように、なにかの動作に無秩序に勢いよく徹底的にやるようなニュアンスをよめるとき、「～あげる」という動詞をよめる言い方があります。

自転車は車のように個室にとびざれていません。横に並べばお互いの顔が見えて、話もできます。

だれもとおらない広い道ならいいんですが、人が歩いている道、車が行き交う車道でこれをやると、たちまちわがままな迷惑行為になります。

「あれらみい。ひろがりあげてのりよるよ。とおらりやせん。」
(おの子たちをみてごらん。ひろがりまくってのっているよ。とおれやしない。)



【たいぎい】

めんどくさい、わずらわしいことを「たいぎい」といいますね。

自転車置き場があるのに、「たいぎい」から歩道におく。一人の「たいぎい」が積み重なると、街はむちゃくちゃになります。

自転車を自転車置き場におくのを「たいぎ」がっちゃだめですよ。

これらは
マナー違反



4月6日に尾道での「春の全国交通安全運動」開始式が行われました。市内の生徒を代表して、学校法人尾道学園尾道高等学校三年生の有田天馬さんによる交通安全宣言がありました。

「自転車マナーを守ります！」



宣誓を終えて、今の気持ちは？

自転車マナーについては、普段から気をつけていましたが、これからもさらに安全運転を心がけ、自転車マナーを守っていきたいです。